

Y Cは全国読売防犯協力会の会員です！

全国読売防犯協力会は、年々活発な防犯活動を展開しています。Y Cスタッフは防犯協力会の一員です。140周年販売宣言を今年も継承して、お年寄り、子ども、女性など弱者救済をモットーに、安心・安全な町づくりを推し進めていきましょう。

① 2015年防犯心得

・・・こんな場面に遭遇したら・・・

- ★新聞がたまっているなど異変を察知したら
⇒速やかに所長（代表）・店長・責任者等に連絡しましょう。
- ★ドアや窓の隙間から室内で人が倒れているのを発見！
⇒大きな声で、「大丈夫ですか！」と声を掛けましょう。
☆意識のある場合⇒本人の同意を得てから、119番もしくは110番通報しましょう！
☆意識のない場合⇒一刻を争う事態。直ちに、119番もしくは110番通報しましょう！

② 見守り活動&ポイント

高齢社会が進む中、お年寄りが安心して暮らすことができる社会や、孤独死を防止するため、新聞配達業務や集金業務などを通じて、お年寄りに「お変わりないですか」と声をかけたり、異変に気づいた際には、警察や自治体の担当者に通報する「見守り活動」が広がりを見せています。

◎ポイント

新聞配達や集金などの日常業務の中で、個人情報やプライバシーに配慮しながら、家族のような「さりげない見守り」がポイントです。

- ・新聞や郵便物がたまっただまになっている
- ・電灯がつけっぱなし、あるいは夜になっても電灯がついていない
- ・雨戸やカーテンが締め切ったままの状態でも昼になっても開いていない
- ・洗濯物が干しっぱなしになっている
- ・配偶者が亡くなって一人暮らしになり、気落ちしている
- ・日頃から病弱である

など、日常業務の中で、「何かおかしい」「いつもと違う」と感じるものがあつた時は、市区町村の担当部署に連絡しましょう。